

# 「ものづくり」グループ

## 〈調査の動機〉

岡崎は伝統工芸が多く残る地域である。

しかし、近年では伝統工芸の衰退が問題になっている。

実際私達も伝統工芸品に触れる機会が少ないと感じる。

そこで私達は、職人の現状と将来のこと、一般市民の認知度について深く調べたいと思った。

## 〈メンバー〉

人間環境大学	ぺい
愛知大学	アンジー
九州産業大学	ふみか
東海大学	ちくいん、かおり

## 〈結果〉

伝統工芸を作り続けている和ろうそくと太鼓店の職人達は、デザインの変化における考え方が違った。しかし、利用してくれるお客様を大事にし、伝統工芸品を残し続けたいという思いは一緒だった。

一方で、伝統工芸品は古い習慣や文化に基づいているものが多く需要が減ってきていることもあり、いつ無くなってもおかしくないとも述べていた。アンケートでは、一般市民は大切な文化なので残したいとの意見が非常に多かったが、伝統工芸品に関する認知度や知識等の具体的な質問にはよく知らないとの意見が多かった。

## 〈考察〉

私達ものづくりグループはこの調査によって、東海大学の生徒のみならず、日本の大学生側も新鮮な体験をした。

職人へのインタビューによって様々なことが分かったが、やはり事前に予想した通り伝統工芸がどこで使われ、いつからあるのかさえ全く分からなかった。そして、メンバーの自宅にも無かったり、身近にあっても素通りしてしまっていたようだ。形を変えて若者向けにする職人もおり、生き残りを争う状態であるようだ。職人になるための弟子入りしている修行期間は、商品として出せるものは作れないため元々給料は出ないようなのだが、最低賃金などの法律などが絡む為、それこそ職人の育成も難しいように思う。

まず国から職人を守り、育成するための保護をするべきではと思った。現状では、職人になれても生活が厳しく、一般市民への理解も必要なようだ。

## 活動内容

8/6	a.m.	日本人学生集合→龍溪院
	p.m.	台湾人学生集合→龍溪院→歓迎会
	感想	まず着いて台所の片づけや晩ごはんの準備をした。みんなとても自主的に取り組むことができ、すごく早く終わった。他大学のこと初めて顔合わせしたけど、みんなとてもいい人だった。グループミーティングでは太鼓の職人への質問を考えたことと、明日の発表に向けての資料を作った。あと晩ごはんが多すぎてお腹が大変だった。(アンジー)
8/7	a.m.	BBQ
	p.m.	全体ミーティング
	感想	川沿いでBBQをした。準備は大変だったが、友たちと一緒にBBQをしたり、川の中で激しく遊んだりすることは初めてなので、とても楽しかった。お互いに助けて、一緒に最後まで頑張っている気持ちは交流活動の一番大切な精神だと思う。午後の全体ミーティングのため、皆頑張って準備して、やる気を感じた。(かおり)
8/8	a.m.	細川バス停→三浦太鼓店
	p.m.	リブラ
	感想	三浦太鼓店の職人にインタビューをして、伝統工芸の話聞いた。また、おかざき匠の会の代表でもあり、幅広い岡崎の匠の話聞いてとても充実したインタビューを得ることが出来た。昼食はラーメン屋に入り、岡崎まぜめんを堪能した。午後はリブラにてグループ室を借り、職人から聞いた話をまとめた。(ぺい)
8/9	a.m.	岡崎城
	p.m.	磯部ろうそく店
	感想	午前中は岡崎城に行き、歴史について学んだり、岡崎の武将隊を見た。その後、予定していた時間に磯部ろうそく店に行き、インタビューをした。帰りにはろうそくを頂き、和ろうそくの良さを実感できた。(ふみか)
8/10	a.m.	発表準備
	p.m.	発表→送別会
	感想	職人にインタビューした後、みんながずっとインタビューの内容を説明しました。この日は発表の日、緊張しました。でも、みんなが頑張っているから、発表の時は成功したと思いました。この活動が好きです!(ちくいん)
8/11	a.m.	清掃→解散
	p.m.	
	感想	あっという間に最終日になってしまった。グループは勿論、それ以外の人とも楽しく交流できて、この交流に参加出来て心底良かったと感じた。調査することによる学習だけではなく、他にも大切なことに気付かせられ、一生忘れない時間となった。(ぺい)

# ものづくりグループ



左から、ぺい ふみか  
アンジー、かおり、ちくいん

太鼓職人に  
直接インタビュー！

暑いけど楽しい！  
次はどこへ行こう～



岡崎城探索！  
徳川家康に会ったよ！



時には真剣に・・・  
アイス食べたい・・・

## メンバー



## 調べたいこと

- ・どうやって伝統工芸や伝統文化を守っていくか
- ・若い世代の伝統工芸への関心の高さ



## 調査方法

### ① インタビュー

- ・三浦太鼓店
- ・磯部ろうそく店

### ② アンケート

- ・東岡崎駅にて伝統工芸の知名度調査

## 認知度調査から分かったこと

- やはり伝統工芸品に触れる機会が少なく、どんなものがあるかも知らなかった。
- 少しだけ年配の方にアンケートを取ってみた結果も同じだった。
- 伝統を守りたいという気持ちはあるけど、どこか他人事で現状を知らない。

## 気付いた事

- 一、三浦太鼓と磯部ろうそくのどちらもお客さんが第一で、お客さんの気持ちや需要を一番大事にしている。
- 二、一般市民は伝統を守ろうと考えているが、職人は絶対に守り続けようという強い意志はなく、いつ無くなってしまっても仕方ないと考えている。

## まとめ

- 伝統工芸をつくり続けている職人達は、デザインの変化における考え方が違ったが、残し続けたいという思いは一緒だった。
- 職人達は、岡崎の祭りや寺などに深く関わっている。昔からの風習や習慣と伝統工芸は支えあって今も残っている。